

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 授業科目名   | 作業療法学概論         |
| 単位数     | 1               |
| 授業形態    |                 |
| 講義コード   | 6042            |
| 授業担当者氏名 | 清水順市(シミズ ジュンイチ) |

|                            |   |                    |
|----------------------------|---|--------------------|
| 授業の到達目標<br>(ディプロマポリシーとの関連) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法における作業の意味と役割を説明できる。(DP1, DP2, DP3)</li> <li>・作業療法士としての社会的責任について説明できる。(DP1, DP2, DP3, DP4, DP5)</li> <li>・疾病と障害と作業療法の関係を説明できる。(DP6, DP7, DP8, DP9)</li> </ul>        |                    |
| 授業概要                       | 作業療法の歴史は古く、海外では精神障害者の回復を目指して用いられてきた。本科目では、医療と作業療法の歴史を把握し、作業療法の発展を学ぶ。疾病やけがによる後遺症、それによる生活障害を把握し、作業療法の介入が個人や家族の生活、地域社会へあてる効果を知る。近年は高齢者の問題が取り上げられてきている中で、作業療法士の地域における役割を把握する。授業の中で、グループに分けて問題提起を行い、グループ討議、発表する力を培う。 |                    |
| 教育課程内の位置づけ                 | リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専門教育科目 専門科目 基礎作業療法学 1年 必修   |                    |
| 授業におけるアクティブな特徴             | 特徴  | 該当                 |
|                            | A:課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり   | なし                 |
|                            | B:課題解決型(PBL)連携なし  | なし                 |
|                            | C:討議(ディスカッション、ディベート等)   | あり                 |
|                            | D:グループワーク   | あり                 |
|                            | E:プレゼンテーション   | あり                 |
|                            | F:実習、フィールドワーク   | なし                 |
|                            | G:双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)  | あり                 |
|                            | H:双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、manaba等)  | あり                 |
|                            | I:反転授業  | なし                 |
| J:外国語のみで行われる授業             | なし  |                    |
| 授業計画                       | 第1回   | 日本と世界における作業療法の発展   |
|                            | 第2回   | 理学療法士・作業療法士法と関連法規  |
|                            | 第3回   | 専門職の倫理             |
|                            | 第4回   | 作業療法の実際(医療)        |
|                            | 第5回   | 作業療法の実際(身体障害・精神障害) |
|                            | 第6回   | 作業療法の実際(発達障害)      |
|                            | 第7回   | 作業療法の実際(地域)        |
| 授業外学修予習(事前学修)              | 各授業 [平均30分] ・作業療法の視聴覚教材を観て、その感想意見をまとめて提出する。<br>・次回授業の章を読んでくこと。  |                    |
| 授業外学修復習(事後学修)              | 各授業 [平均30分] 復習のクイズを行うので、授業内容をする事。   |                    |
| 評価方法                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出(発表を含む):20%</li> <li>・クイズの得点:10%</li> <li>・定期試験:70%</li> </ul>   |                    |
| 教科書等                       | 矢谷 令子編集:作業療法概論, 協同医書出版  |                    |
| 課題に対するフィードバックの方法           | クイズを実施し、質問に回答する。  |                    |
| その他                        | ・必要に応じて資料はPDFで配信する。   |                    |
| 授業担当者の実務経験の有無              | 大学病院および地域リハビリテーションでの臨床経験あり。   |                    |
| 授業担当者の実務経験の内容              | 脳血管障害、脊髄損傷、切断、神経筋疾患、発達障害、精神疾患、認知症などのリハビリテーションを経験している。   |                    |
| ファイル                       |   |                    |